

# 副町長に久本氏が就任しました



副町長  
久本 修

## 就任あいさつ

4月1日付けをもちまして副町長に就任いたしました久本修でございます。町長の補佐役という大役を与えられ、職責の重さに身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当町は、温暖な気候に育まれた穏やかでよい雰囲気にあふれています。大都市では薄くなってしまう、人と人とのつながりを大切に、地域の皆で協力しあって行こうという気風は、町の大きな財産であると思います。

また、当町には、豊かな自

然や、町外でも有名な歴史、文化など、さまざまな魅力があふれています。鮭が遡上する南限として広く知られている栗山川は、かつての町境としての存在から、今は町の中央軸となり、町内・外の交流拠点としての可能性を秘めています。

このようすばらしい人、自然、文化など、数々の地域資源を擁する当町は、大きな潜在力を持った町と言えるのではないのでしょうか。さて、地方自治を取り巻く環境は、急激な少子高齢化の進展や財政状況の悪化など、ますます厳しさを増しております、これは当町も例外ではあ

りません。更に、基礎自治体である市町村が主役となる地方分権が推進されており、町が担う役割は、以前にも増して重要かつ複雑になっています。こうした中で、町の行政は、社会経済情勢の変化に対応しつつ、より一層効率的な運営に努め、健全な財政を確保していくことが求められています。

将来を見通し、町民の皆様に安心して暮らしていただけるように、また、町の数ある地域資源を活かし、人が集まり活力のある町の維持・発展を目指して、しっかりと行政運営を進めて行かなければなりません。

私は、もとより微力ですが、皆様方の御指導、御協力を賜りながら、町のため誠心誠意努力して参る所存であります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私には、豊かな自然、文化など、数々の地域資源を擁する当町は、大きな潜在力を持った町と言えるのではないのでしょうか。さて、地方自治を取り巻く環境は、急激な少子高齢化の進展や財政状況の悪化など、ますます厳しさを増しております、これは当町も例外ではあ

## 農業委員会委員選挙は無投票に

任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙が行われました。2月26日の告示で、各選挙区定数どおりの立候補となり、無投票で決まりました。

〈届出順、敬称略〉

選挙区		当選者氏名	
第1選挙区	秋葉 三雄 (栗山)	第2選挙区	伊藤 勉 (姥山)
	加藤 順一 (鳥喰新田)		関 秀志 (本町)
	川島 行雄 (西)		伊藤 勝利 (於幾)
	伊東 宏康 (南)		怒賀 眞二 (中台)
	伊藤 秀志 (本町)		土屋 幸夫 (宝米)
	伊藤 勝利 (於幾)		佐久間 秀俊 (小田部)
	怒賀 眞二 (中台)		布施 裕康 (富下)
	土屋 幸夫 (宝米)		関川 利央 (篠本二区)
	佐久間 秀俊 (小田部)		越川 仁志 (谷中)
	布施 裕康 (富下)		本橋 輝男 (桑郷)
第3選挙区	関川 利央 (篠本二区)	第4選挙区	伊藤 周一 (尾垂五区)
	越川 仁志 (谷中)		平山 新一 (長塚)